



## 今月の援農状況

Let's Activate Area AGRI

- 土作り・苗づくり と この季節ならではの応援依頼をいただきました。ハウス関連の準備作業もありました。
- 今月に入り 出荷野菜の品目数が 少なくなりましたが ほうれん草・小松菜・人参 等の荷づくりは つづいています。 整備した竹林に 陽の光
- 1月の援農時間は 620h ほど となりました。

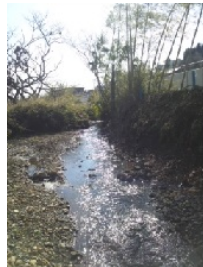


## 農園体験記 “栽培方法に工夫” 国分寺市 吉本匡廣

待望の家庭菜園を昨年5月から2区画（100㎡）で始めました。青森のりんご農家の鈴木さん・千葉の稲作研究家の岩澤さん（冬みずたんぼ）は、不耕起・無肥料・無農薬栽培を実践しています。そこで、里山を愛し・自然と共生し如何にして少稼働で且つお金を掛けない野菜作りが、不耕起・無肥料・無農薬栽培で出来ないかと思ひ奮闘中です。野草の根と野菜の根を残地（自然と腐ります）することで畑を耕します。クローバにより、空気中のチッソの固定と野草の生長を押さえさせます。畑で出来たもの（野草および野菜の残り物）は、原則畑に帰し肥料とします。昨年は、試験的に1区画にクローバを蒔きもう一区画は、蒔きませんでした。蒔かない区画は梅雨の晴れ間に野草があつという間に成長し、スイカ・枝豆・春菊・枝豆は野草に負けて収穫ができませんでした。よちよち歩きです。今後とも宜しくお願いいたします。

## 富所農園 便り

厳寒のとき 栽培野菜の姿は 少なくなっています。ハウレンソウ ねぎ … 。かわりに目立つのは白いトンネルと堆肥の山。落ち葉一杯の袋が 一つ二つ … 。全 21 区画 空きもなく 3 月に入れば一気に作業開始となりそうです。



農園の南の流れは 是やくも春の風情

「千年の昔のごとく 耕せり」 ( 富安風生 )

## すずしろ22 総会の開催

2月25日 台町市民センターで 開催されました。  
正会員数 145 人のうち 当日参加 38 人 委任状などによる参加 62 人

第 1、2、3 議案	活動報告・決算報告・監査報告— 各議案を承認
第 4、5 議案	活動計画・予算— 以下 原案通り可決
第 6、7 議案	定款の一部改正と規程の策定
第 8 議案	理事の退任と選任

退任： 中井光三 川口葉子 (敬称略)  
選任： 永澤孝夫 菅家加代子 石倉陽子



総会后、農林水産省の中田哲也氏に「日本農業の実情—フードマイレージの視点から—」という題で講演をしていただきました。事務局で資料を保管していますので、ご関心のあります方は 一報方。



## チョット耳にした情報・アドバイス

### (1) 元肥の施肥

「土作り作業で元肥を畑一面に散布し鋤きこむ方法は 肥料過多になることも考えられるので筋蒔き・ポット蒔きを意識するのも 一策」(実践セミナー)

### (2) 「鶏ふん堆肥 利用のすすめ」(東京都産業労働局農林水産部 の資料より)

- ①リン酸・カリウム・カルシウムが豊富に含まれた優れた有機肥料。
- ②大量使用は肥料やけを招くことあり ③施肥後のガス発生による影響に注意。

### (3) 南向き斜面は あたたかい

裾地よりも数度高温傾向にあることを利用して 古来その斜面に横穴を掘り 寒さに弱い生姜等を越冬保存してきている。平地に垂直穴を掘る方式よりも温度確保にすぐれている。

## ★事務局からのお知らせ 人材—農家需要 と市民意欲のマッチング

### (1) 啓蟄も すぐ そこに

今年の寒さは 例年以上で 氷点下の朝がつづいています。啓蟄を控えて 畑の土作り作業が 農の前線で展開されています。援農作業への 皆様方の参加をお待ちしています。

### (2) 新規加入の農家会員さん

昨年末 加入いただいた農家さんの紹介で もうお一人の方の入会をいただきました。「すずしろ22からの応援がないと 農業継続がむずかしい」とのお話をいただいています。

(3) 2月1日、宮城専保さんの畑脇の篠竹を取らせていただきました。参加者 11 人。篠竹はエンドウなどの支柱に使います。